

清水南のお宝めぐり

(坪谷・甕谷編)
福井市清水南小学校

清水南小学校では、十月二十日に全校で「清水南のお宝めぐり」を行いました。地区ごとに行ってみたい所を訪問して、地域の方から多くのことを教えていただきました。

坪谷地区では白山神社と渡辺社寺建築工場に、甕谷地区では万福寺と神明神社に行きました。そして十一月十一日の学習発表会では五・六年生が自分たちの地区の宝としてみんなに紹介しました。

〓坪谷町〓
〓白山神社〓

坪谷町では、自治会長の山本さんに案内して頂きました。



白山神社は、最初は二つに分かれていて上の堂さまと下の堂

さまがあったそうです。

明治時代に、その二つを一つにまとめました。その神社が今の白山神社です。

神社の中には、上の堂さまと下の堂さまにあった仏像と他の所からゆずりうけた木造地蔵があります。その地蔵のまわりには、四天王の像があります。

ここで、問題です。

Q、その木造地蔵は、何時代につくられたものでしょうか？

- ①江戸時代
- ②室町時代
- ③平安時代



(答え) ③

平安時代には、伝せん病などがはやっていて、たくさんの方が亡くなったそうです。それで仏様を拝みたくてお地藏さまができたそうです。

神社の建物内には、地区のお祭りのときに入れます。地区の人みんなが集まってお参りします。いつもは、鍵がかかっています。入れないけど、お宝めぐりの時には入れたのでよかったです。

そこには、絵馬がたくさん飾ってあります。神社の建物や階段などを修理するたびに、絵馬が奉納されたそうです。小ささまざまな、絵馬があるのですごいいと思います。

〓渡辺社寺建築工場〓

渡辺社寺建築工場さんは、坪谷から甕谷へ向う道ぞいにあります。お宝めぐりでは、工場長さんと彫刻師さんがお話をして下さいました。

渡辺社寺建築さんでは、神社やお寺の修理をしたり、新しく作ったりしています。坪谷の新しい白山神社も作ったそうです。一つの神社を修理するのに一年くらいかかるそうです。

お仕事のことをうかがって、すごいと思ったことは、くぎを使わないで木と木をつないだり組み立てたりする技術です。パズルのように木を組み合わせていきました。昔から伝わる、大工さんたちの技術だそうです。

すごいところの二つ目は、彫刻師さんです。彫刻師さんは、木で竜や鳥などの生き物や、花などを作ります。

ここで、クイズです。
Q、彫刻師さんはたくさん道具を使っていますが、およそ何種類の道具を使い分けているのでしょうか。

- ①約百種類。
- ②約二百種類。
- ③約三百種類。

(答え) ③

三百種類ものノミや彫刻刀を使い分けて細かい彫刻を作っているそうです。図工の版画で使うのは五種類ぐらいなので驚きました。

ぼくたちの住む町にこんな工場があるなんて、すごいことだと思います。

〓甕谷町〓
〓神明神社〓

神明神社は、坪谷の白山神社と同じで、もともとは二つ神社があつて今の神社の場所には、農村公園があつたそうです。今でも農村公園の遊具があります。

神明神社には、めずらしい絵馬があります。普通は馬の絵が多いのですが、神明神社の絵馬に描かれている生き物は、絵馬では大変珍しいそうです。

ここで、問題です。
Q、神明神社の絵馬に描かれている生き物は何でしょう。

- ①きつね
- ②なまず
- ③かめ

(答え) ②



なまずの絵馬は、全国でもめずらしいそうで、私も初めて見ました。
私が神明神社で驚いたことがもう一つあります。それは、神社の鳥居です。この写真を見てください。何か変わっているところに気がつきませんか？



神社の鳥居の二本目の棒がつきでいていません。他の神社なら二本目の棒がつきでいていますが、神明神社はつきでいてなくておどろきました。

(感想)

私は、白山神社には何度も行ったことがあったけど、神社が二つあったことや、仏像をゆずりうけたことなど知らないことがたくさんあって驚きました。甕谷では、なまずの絵馬や神社の鳥居など珍しい物がたくさんあって驚きました。また機会があったら、ちがうところにも行って町内のことをもっとたくさん知りたいです。